

第3回ネットワーク委員会

日時 令和4年12月22日(木)19:15～

場所 富士根南公民館集会室

司会 斉藤 富夫 企画副委員長

<配布物>会議資料(次第p1～p13)、チラシ

次 第

- 1 開 会 副会長 関口 守
- 2 挨 拶 会 長 佐野 英夫
市社協地域ささえあい係長 増田 成孝 様
- 3 報告・計画事項 企画副委員長 斉藤 富夫
 - (1) 富士根南小「昔のあそび教室」
 - (2) 地域を知ろう
- 4 協議事項 【議長 木ノ内企画委員長】
 - (1) 「小地域福祉ネットワーク」一斉調査結果について
 - (2) 各区のネットワーク活動について
 - (3) 小地域福祉ネットワーク活動の課題について
 - (4) 生活支援活動事業について
- 5 その他
 - (1) 市社協
 - (2) 市健康増進課
 - (3) 富士根地域包括支援センター
- 6 閉 会 副会長 渡井 務

富士根南小「昔のあそび教室」報告

令和4年度の富士根南小「昔のあそび教室」が11月29日（火）に実施されました。富士根南地区社協から64名の支援者が一年生146名の児童に昔の遊びの指導を行いました。当日はあいにくの雨となり、屋外で実施予定の遊びが、屋内となってしまう、少し窮屈な活動となってしまいました。

子供たちは15種類の遊びの中から、一人3種類の遊びを選び挑戦しました。支援者は名人の名札を掲げ、昔のあそびの指導に一生懸命で生き生きとした表情が表れていました。また、子供たちにうまく教えられるように家で練習してきましたという支援者もあり、この教室にける意気込みが伝わってきました。

子供たちも楽しみにしていた昔のあそび、家で練習してきたのか上手にできる子供、最初はできなくても何度かチャレンジしてできるようになった時のうれしい表情を見ると、支援者もとても良い気分になります。

お忙しい中、昔のあそびの指導にご協力いただきました支援者の皆様ありがとうございました。

15種類の遊びは次の通りです。

- ① 竹とんぼ ② 竹馬 ③ 竹ぽっくり ④ まりつき ⑤ ゴム跳び ⑥ ゴム飛行機
⑦ 紙飛行機 ⑧ はねつき ⑨ こま ⑩ ビー玉 ⑪ おはじき ⑫ けん玉
⑬ めんこ ⑭ お手玉 ⑮ あやとり



竹馬



紙飛行機



あやとり



まりつき

令和4年度「小地域福祉ネットワーク活動」調査結果

2022/12/22

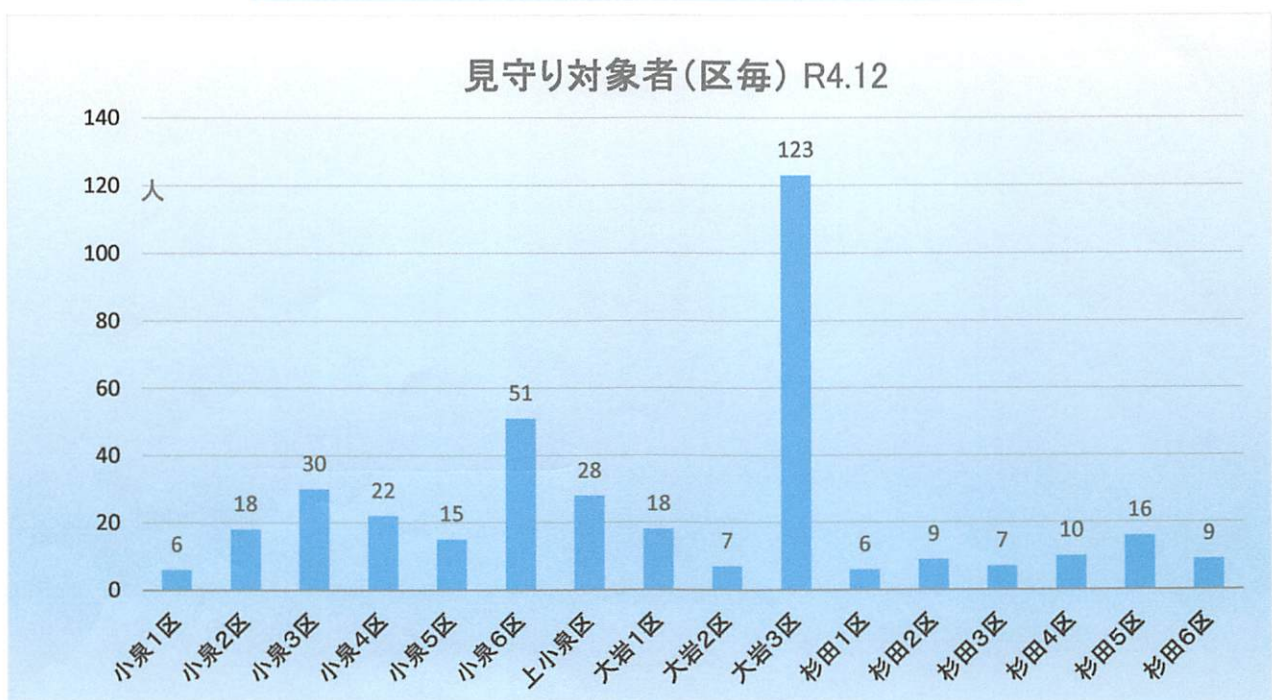
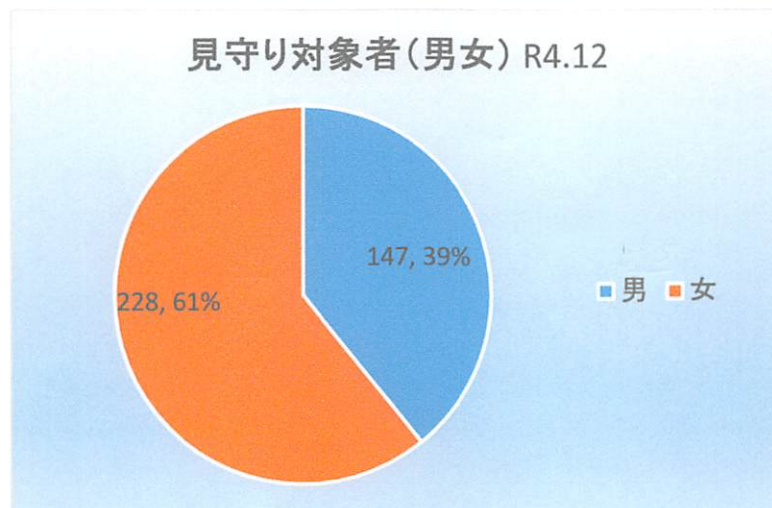
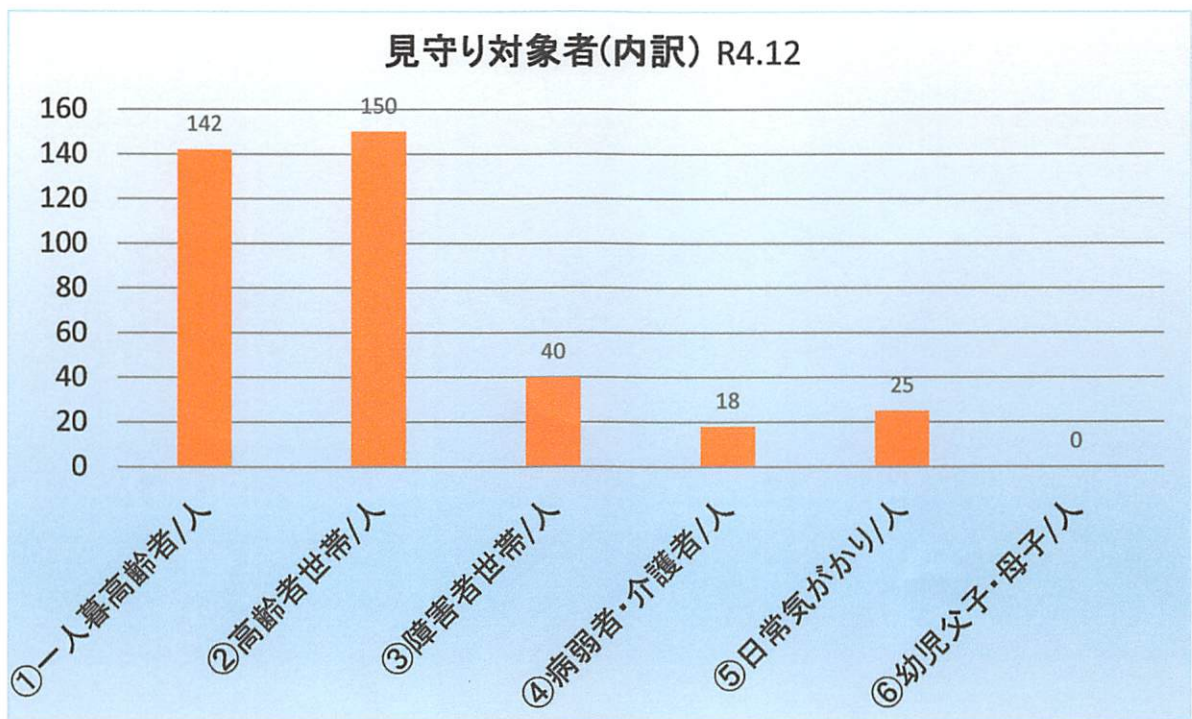
富士根南地区社会福祉協議会

区名	組織名	構成者(数)	合計	見守り対象者(数)	合計	福祉協力員(数)	合計	調査
小泉 1区	福祉委員会	区長(1)町内会長(2)会計 (1)民生委員(1)福祉委員 (1)	6	一人暮らし高齢者男(0)女 (6)	6	班長(10)	10	途中 経過
2区	福祉部	区長(1)町内会長(2)民生 委員(2)保健委員(1)福祉 委員(4) 班長(27)	37	一人暮らし高齢者男(2)女 (16)	18	班長(27)推進委員(10)	37	途中 経過
3区	福祉部	区長(1)副区長(1)町内会 長(4)会計長(1)相談役(2) 顧問(1)民生委員(3)福祉 部員(1)福祉部長(1)	15	一人暮らし高齢者男(3)女 (9)高齢者世帯(8)障害者 世帯(5) 病弱者・介護者(4)) 日常気がかりな人(1)	30	班長(20)	20	終了
4区	福祉部	区長(1)町内会長(3)顧問 (1)相談役(2)民生委員(3) 保健委員(2)長寿会(3)根 南女連(1) 福祉委員(1)	17	一人暮らし高齢者男(1)女 (9)高齢者世帯(1)病弱者・ 介護者(2) 日常気がかり な人(9)	22	顧問(1)参与(1)民生委員 (2) 民生委員退任者(1) 班長(1)長寿会(6) 近隣区民 14)	26	終了
5区	福祉部	区長(1)副区長(1)町内会 長(2) 福祉委員(1) 民生 委員(2)保健委員(1)	8	一人暮らし高齢者男(5)女 (5)障害者世帯(3) 日常気 がかりな人(2)	15	民生委員(2) 福祉委員 (1)福祉協力員(4) 保健 委員(1)	8	終了
6区	みまもり 隊	区長(1)町内会長(2)会計 (1) 民生委員(1)福祉委員 (1)福祉協力員(28)	34	一人暮らし高齢者男(1)女 (3) 高齢者世帯(38)障害 者世帯(1) 病弱者・介護者 (3)日常気がかりな人(5)	51	元区長(1)元町内会長(1) 元民生委員(1)ボランティア (6) 班長(19)	28	終了
上小 泉区	上小泉 福祉会	区長(1)副区長(1)町内会 長(7)民生委員(6)福祉会 役員(23)女性部会(2)保健 委員(2)	42	一人暮らし高齢者男(3)女 (17) 高齢者世帯(4)障害 者世帯(1)病弱者・介護者 (1) 日常気がかりな人(2)	28	近隣見守り者(10)	10	終了
大岩 1区	福祉 委員会	区長(1) 福祉委員(1) 民 生委員(1)町内会長(3) 会 計(1)事務局長(1)班長(22)	30	一人暮らし高齢者男(3)女 (10)高齢者世帯(4)障害者 世帯(1)	18	区長(1) 民生委員(1)町 内会長(3)会計(1) 事務 局長(1)班長(22)	29	終了
2区	見守り ネットワ ーク	区長(1)町内会長(4)班長 (19)寿会会長(1)福祉委員 (1)民生委員(1)	27	一人暮らし高齢者男(4)女 (3)	7	福祉委員(1)民生委員(1)	2	終了
3区	福祉部	区長(1) 福祉部長(1) 町 内会長(4)防災部長(1)民生 委員委員(4)児童委員(1) 寄合い処代表(1)班長(48) 子育てサロン代表(1)	62	一人暮らし高齢者男(7)女 (13) 高齢者世帯(83)障害 者世帯(20)	123	班長(48)	48	終了

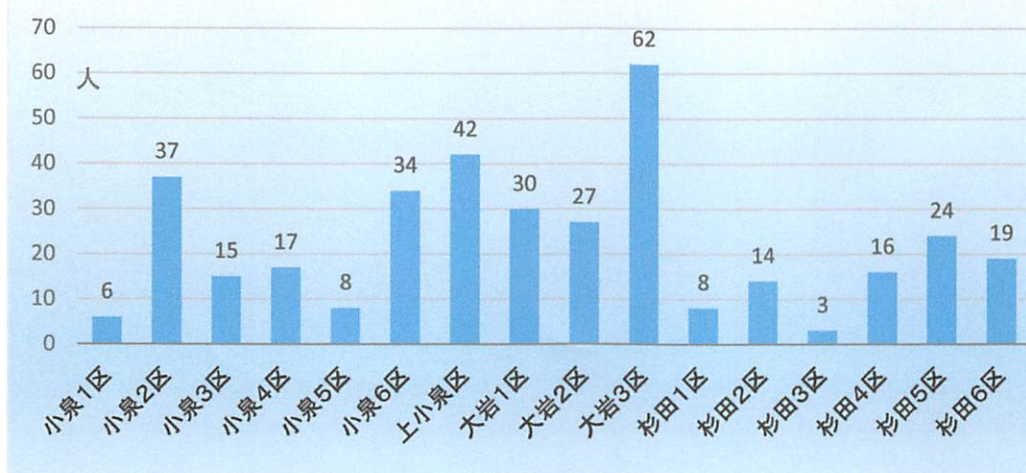
区名	組織名	構成者(数)	合計	見守り対象者(数)	合計	福祉協力員(数)	合計	調査
杉田 1 区	福祉部	区長(1)副区長(1)町内会長(1)班長(3)(民生委員(1)賃貸住宅オーナー(1))	8	一人暮らし高齢者男(2)女(3)日常気がかりな人(1)	6	区長(1)副区長(1)町内会長(1)班長(3)(民生委員(1)賃貸住宅オーナー(1))	8	終了
2 区	福祉部	区長(1)副区長(1)町内会長(3)班長(7)民生委員(1)保健委員(1)	14	一人暮らし高齢者女(1)障害者世帯(4)日常気がかりな人(4)	9	町内会長(3)班長(7)民生委員(1)保健委員(1)	12	終了
3 区	福祉ネットワーク	区長(1)副区長(1)民生委員(1)	3	一人暮らし高齢者男(0)女(3)障害者世帯(2)病弱者・介護者(2)	7	区長(1)副区長(1)町内会長(2)民生委員(1)班長(6)近隣住民(14)	26	終了
4 区	福祉委員会	区長(1)副区長(1)民生委員(1)町内会長(3)班長(10)	16	一人暮らし高齢者男(0)女(3)高齢者世帯(3)障害者世帯(1)病弱者・介護者(3) 日常気がかりな人(1)	10	区長(1)副区長(1)町内会長(5)班長(19)民生委員(1)	27	終了
5 区	福祉の会	区長(1)副区長(1)町内会長(3)民生委員(1)保健委員(1)ボランティア(16)顧問(1)	24	一人暮らし高齢者男(1)女(1) 高齢者世帯(3) 障害者世帯(2)病弱者・介護者(8) 日常気がかりな人(1)	16	班長(14)近隣支援者(36)ボランティア(23)	73	終了
6 区	福祉の会	区長(1)副区長(1)町内会長(3)民生委員(1)班長(13)	19	一人暮らし高齢者男(4)女(5)	9	班長(13)	13	終了
		合 計	362	合 計	375	合 計	377	

「小地域福祉ネットワーク活動」実施に当たっての課題など

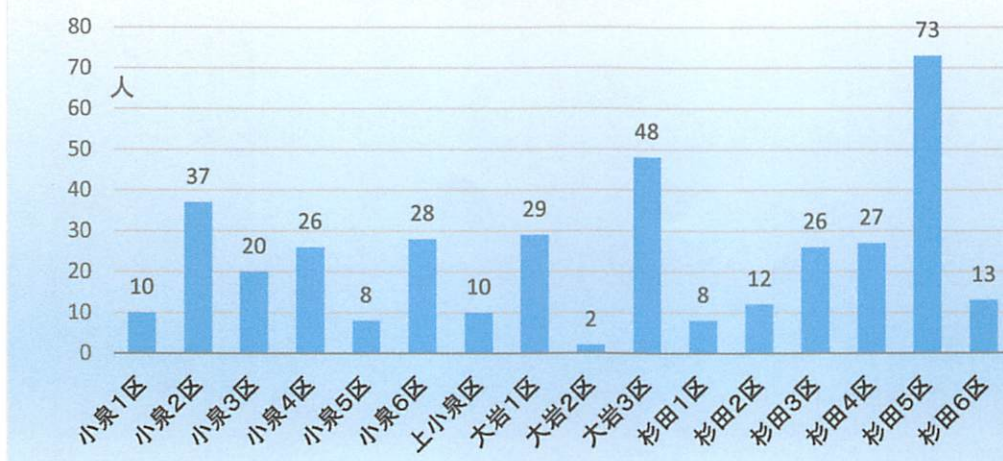
- 福祉協力員の高齢化
民生児童委員の人材がいない。(小泉4区)
- 現在の活動は、Line を利用した隊員同士のコミュニケーションで行っています。
見守り対象の方には見えない活動になっていて、それを危惧しています。自宅訪問などで、お話しすることで、癒される方もいらっしゃいますが、そうでもないと思われる方もいて、見守られる方が何気なく見守られていると感じられる、そんな活動を協力員の方に期待しています。(小泉6区)
- 区の自治会を脱退する班や世帯が出てきており、区外となった人の対応をどうするか。(杉田2区)
- 10月11日より3、4区カーシェアリングの試験に入りました。試行は2か月の予定でしたが、努力が認められ、カーシェアリング協会の好意により3月まで延長になりました。終了後の継続に向けての資金の調達が大きな問題となります。(杉田4区)
- 福祉協力員となっていた方で、協力を得られない方に福祉活動の必要性を分かってもらふこと。(杉田5区)



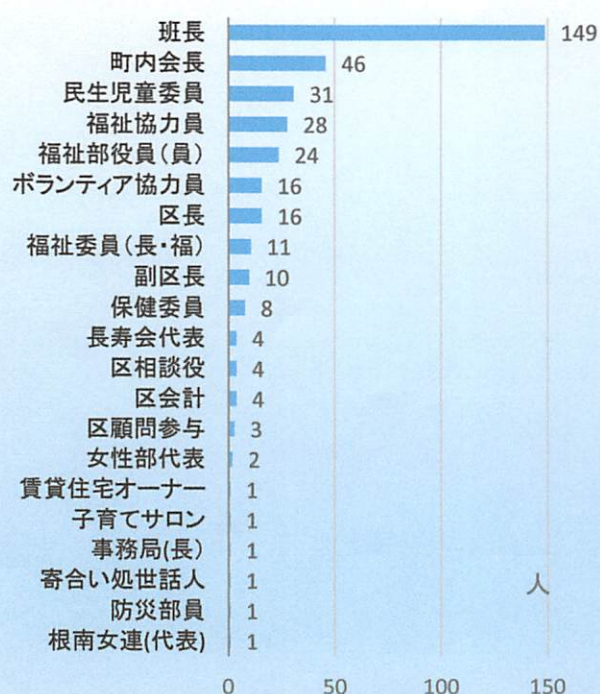
福祉部(区毎) R4.12



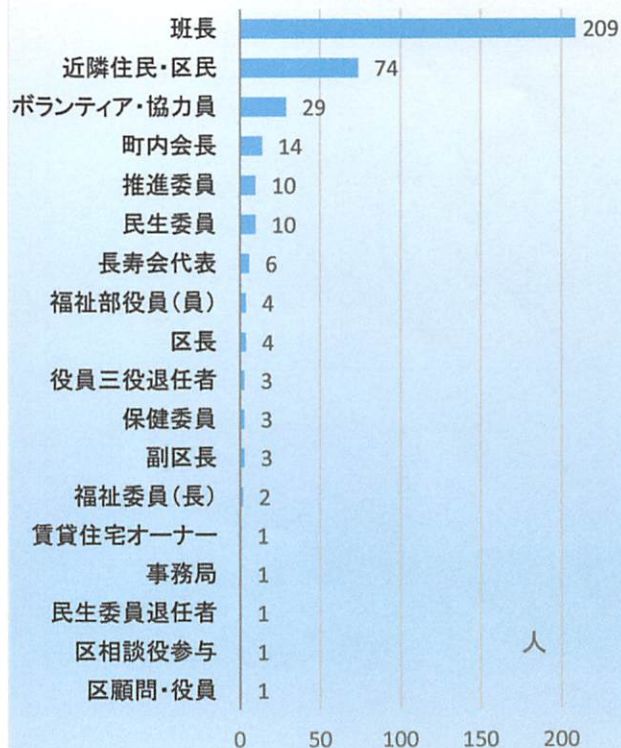
福祉協力員(区毎) R4.12



福祉部の構成 R4.12



福祉協力員の構成 R4.12



生活支援活動事業について（案）

2022/12/22

1. 概要

生活支援を必要とする高齢者等（生活上のちょっとした困りごとを有する人）に対し、地域住民の有償ボランティアによる生活支援を行なう助け合い活動である。

2. 組織

- ・富士根南地区社協の事業として、新たな組織を以って実施する。
- ・会員制の組織とし、対象は富士根南地区の住民とする。

3. 支援内容

基本的に専門性、緊急性がなく、一般の人が、誰でもできる内容、範囲とする。

- ① 生活援助： 買物代行（日常品の買物）、ゴミ出し、粗大ごみ、話し相手等
- ② 軽介助： 買い物同行、散歩の同行、病院等の同行等
- ③ 住居の清掃や家の周りの手入れ： 室内の清掃・片付け、草取り、剪定等
- ④ 軽微な作業：電球交換、家具の移動等
- ⑤ 移動支援：買物の送迎、通院の送迎等

4. 対象外サービス

- ・サポートすることで、自立した生活を妨げる可能性があるもの。
- ・理容、電気工事、調理など専門の資格、技術を必要とするもの。
- ・金銭管理（預貯金の出し入れや預け入れ）
- ・診察や診療の立ち会い。
- ・1回に2時間を超えるサービス。
- ・事前に頼まれていないこと。

5. 支援対象者

富士根南地区に居住し、生活支援を必要とする方で以下に該当する人

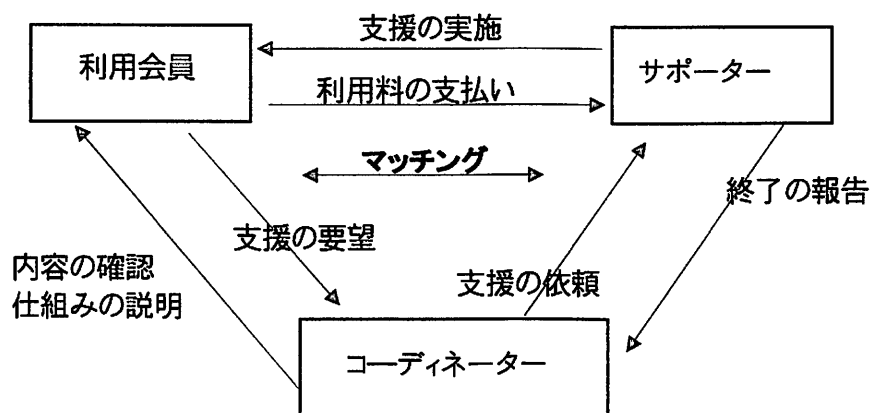
- ・一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯
- ・障がい者及びその世帯

6. 支援の仕組み

利用会員：生活支援を必要とする高齢者等で会員登録をし、入会金 1000 円を納入した人

支援員（サポーター）：助け合い活動の目的に賛同する地域住民で会員登録し、支援内容のサービスを提供する人

コーディネーター：利用会員からの支援の要望により、支援員に支援サービスの依頼をする人



7. 有償のボランティア活動

利用者が気兼ねなく利用できることと、サポーターが継続して活動できることから有償のボランティア活動とする。

サービス内容	利用者から	サポーターへ
ゴミ出し（1回）	150 円	100 円
掃除、買い物、話し相手、移動支援等（1時間）	500 円（1000 円）	400 円（800 円）

差額は運営費とする

- ・活動の時間 9：00～16：00 1回2時間まで
- ・活動休止日 国民の祝日・8月13日～8月16日・年末年始（12月29日～1月7日）

8. スケジュール

- ・事業内容の確認作業 R5.3.31
- ・チラシ類の配布 R5.4.20
- ・移動支援については、検討事項が多いため当面、上記スケジュールからは除外する。

9. その他

- ・運営に関する経費は、地区社協の予算を充てる。
- ・専用電話の開設
- ・利用料金支払い（徴収の方法）（チケット方式）
- ・移動支援サービス専用自動車保険（損害保険ジャパン）

発行責任者：富士根南地区社会福祉協議会



根南福祉だより

47号

(広報部)

令和4年度事業の進捗状況

企画委員長
木ノ内 高嘉

富士根南地区社協では、地域に住む誰もが、住み慣れた地域で、いつまでも安心して暮らすことのできる福祉のまちづくりを目指して、活動を展開しております。

少子高齢化や核家族化により、地域のつながりが希薄となり、住民同士の相互支援機能（向こう三軒両隣機能）が低下し、福祉課題を抱える人が増えている現状があります。こうした福祉ニーズに的確に対応するためには行政の取り組みだけではなく、私たちが福祉を身近な問題としてとらえ、地域福祉の担い手として、何らかな支援を必要とする人々を地域で支えあい、見守ることが大切な役目であります。

こうした観点から、6月に出前福祉講座を大岩3区の要望を受け開催しました。富士根南地区社協の概要、地域の福祉活動における向こう三軒両隣関係の重要性、他区の福祉活動の状況を説明しました。大勢の参加を得て、高齢化社会のなかの地域の福祉活動の重要性を理解していただきました。



出前福祉講座大岩3区

7月には推進委員研修会を開催しました。上小泉区、大岩3区、杉田5区の福祉活動の実践報告を行い、これを参考に地域の課題についてどのような対応ができるか、グループ討議を行いました。参加者は、地域の福祉課題について、活発に意見を出し合い、より良い地域にするための方策を話し合いました。



推進委員研修会グループ発表

10月には三世代交流グラウンドゴルフ大会を開催しました。雨模様の中でしたが申込者のほとんどの方に参加していただき、コロナ禍で、集団活動の機会の少ない中、この大会を通して、三世代間・地域住民同志の交流や親睦を図り、繋がりを深めることができました。



「柚野・稲子応援隊」講話

地域福祉の推進母体であるネットワーク委員会では、各区のネットワーク活動の報告や課題への取り組みが報告され、小泉5区では生活支援活動の一環としてフードドライブ（食品ロス減少活動）が新しく始まりました。さらに、杉田3区・4区における交通移動手段としてのコミュニティカーシェアリングの報告、すでに住民の困りごと支援を実施している「柚野・稲子応援隊」の活動報告など地域福祉の実践事例を学びました。今後の小地域福祉活動に活かしてまいります。

本年度の事業計画にある生活支援事業は、市社協の地域福祉活動計画と整合性をとり両者を合わせて実施していくことにしました。これは高齢の皆さんのちょっとした困りごと（ゴミ出し、草取り、庭木の手入れ、買い物、通院の送迎など）を地域のボランティアができる範囲でお手伝いする助け合い活動です。現在、組織の体制、支援内容などを計画中ですが、実施に当たっては地域の支援員（ボランティア）が必要となりますので可能な方は、この活動への参加をお願いします。

グラウンドゴルフ大会

三世代交流部
部長 村松真由美

10月10日根南小のグラウンドで「三世代交流グラウンドゴルフ大会」が行われました。

10月10日と言えば晴れの特異日と言われていますが、当日は朝から小雨。グラウンドの状態は悪くなかったのですが、小雨決行として準備を始めました。この天候の中どのくらいの人に来てくれるか不安でしたが、65名の方が集まってくれました。開会式を始める頃には雨もやみ、ゲームを始めましたが天候はよくなり、せめて1ラウンドもってくれればと祈る思いでした。なんとか2ラウンド終わることができましたが、雨のためスコア表がびしょ濡れでスコアの確認をするスタッフはたいへんな思いをしたことと思います。

雨の降る中集まってくれた参加者の方々、朝早くから雨に濡れながら準備や片付けをしてくれたスタッフの皆さんの協力で無事終わることができました。ありがとうございます。

来年は晴れの中みんなが楽しく試合ができたらいいなと思っております。

次の方々が成績優秀者として表彰（賞状、メダル、副賞）されました。

優 勝	佐野マモル	大岩1区
準優勝	望月 利浩	小泉4区
第3位	諸星 芳男	杉田5区



参加者の声

- ・私は孫と参加した人と一緒に組で廻りましたが、祖母の指導で一生懸命プレーする姿に”ほっこり”としながらプレーを楽しみました。（女性）
- ・雨に濡れたコースを読むのが難しかったが、いつもよりアンダースコアで廻れたので良かったです。（男性）



開会式



プレーの様子



プレーの様子



3位 優勝 準優勝

地域福祉推進計画中間会議の報告

本年度から7年度までの4年間、地域福祉推進計画が実施されることについては、前々号(第45号)でお知らせいたしました。その具体的な推進のために5/17にキックオフ会議、10/17には中間会議が開かれました。

中間会議ではキックオフ会議で検討された諸課題に対して、改めて課題の優先順位について真剣に検討した結果、今年度は生活支援を優先課題として取り組んでいこうということになりました。以下は中間会議で話し合われた内容です。(丸山 孝)



①課題の優先順位 ・調査に基づいて不安に対する対応策を検討する。	⑤取り組み(事業)内容(予定) ・移動支援と軽微な生活支援をセット
②今年度取り組む課題(1つ選ぶ) ・生活支援	⑥メンバー ・地域住民の中からサポーターを募る。
③取り組む目的 ・高齢化が進んでいく中で、高齢者世帯の生活課題を把握し、対応する。	⑦スケジュール・予定 ・地域社協のネットワーク委員会で各区の福祉会に説明し、意見をもらう。
④取り組みの効果 ・1日でも長く自分の暮らす地域で生活できる。	⑧活用ツール(モノ)(カネ)

来迎寺カフェと出張商店街がコラボ開催 富士根南・根北地区協議体

8月28日(日)来迎寺(大岩1区)で、多くの地域住民が集い開催されました。

毎月「来迎寺カフェ」を開催している岩田照賢住職による「心の糧」についての青空説法で始まりました。

本堂内では富士根南地区の子育てサロン・寄り合い処や地区社協の活動ポスターセッションや展示品がならび、富士根地域包括支援センターによる認知症の相談コーナーも設けられました。境内では、富士宮食のひらめき会による買い物の一助として出張商店街が出店されました。来場者は日用雑貨を買い求め、相談コーナーに立ち寄り、周りの人たちと談笑し、境内に流れるギターの生演奏に聞き入ったりと、それぞれに楽しい一時を過ごしていました。(深澤 勇)



住職の説法



出張商店街



カフェの様子

スポーツ推進委員について 代表 後藤 守

1961年スポーツ振興法により体育指導委員が始まりました。スポーツ振興の為の指導、助言を役割としていました。それに加えスポーツ事業の実施に係る連絡調整の役割が重要視され、2011年スポーツ基本法が制定され、スポーツ推進委員に名称変更しました。

スポーツ推進委員は市町村教育委員会が委嘱する非常勤公務員です。

1. 各地域における健康づくりの為にスポーツ活動の実施
2. 軽スポーツの普及、スポーツ教室等の開催
3. 市主催の各種スポーツ大会への参画等

地域体育部等の運営及び活動、あるいは学校体育施設を有効利用するための指導助言にあたるなど、地域スポーツの充実発展に貢献する。

県関連の年間活動としては、県スポーツ推進委員会の実技研修会と研究大会、富士、富士宮の研修会、東海4県研究大会等があります。

市関連は新体力テスト、市民レクスポ祭、市民ゆっくりマラソン、市スポーツ教室（ボッチャ教室）の企画運営。各学区の健康づくり推進事業、夜間学校体育施設利用の為に抽選会、軽スポーツ等の指導者派遣、富士宮駅伝のボランティア活動の取りまとめ。組織に研修部、地域推進部、軽スポーツ部の専門部がありそれぞれに活動し、全体として年8回の協議会（実技含む）などがあります。

スポーツ関連の市と地域との連絡役を担っていますので、相談をしてくだされと思います。



ボッチャ

みのりシニアクラブ

小泉6区 会長 長谷川 幸雄

毎月の定例会は、第1水曜日に20名前後が参加して9時30分から開催、前月の活動報告、今月の協議案内を報告し質疑応答終了後、月替わりで脳トレ、計算・漢字問題、輪投げ、童謡合唱などを行い、頭を使い、身体を動かし、声を出して衰え防止に努めています。

月曜日、水曜日の13時から14時30分まで親睦と軽運動を目的にグラウンドゴルフを楽しんでいます。そして向原八幡宮境内の清掃を町内交互に実施、区の行事5回にも参加し手伝いをします。それから毎年10月開催の幼稚園児から小学校6年までの子供達と一緒に童謡を歌うステージ（宮あつホーム）に10年連続で出演しています。富士山シニアクラブの活動にも参加しています。

顧問；由良 弘文 会員；60歳代～90歳代



宮あつホーム 10/15

ブチミューズみのりシニア 令和4年10月15日

寄り合い処『幸せの泉』

小泉2区 代表 高橋 明美

開催日：第1木曜日 13:30～

・時間を短縮して開催

会場：小泉2区区民館

コロナのため昨年7月から今年9月までお休みをし、10月から再開しました。

寄り合い処も今年で17年です。毎回14～15名の参加が有りますがほとんどが女性です。以前には長谷川公子先生のピアノ伴奏で歌を唄ったり体操なども行っていました。それがコロナでできなくなり「塗り絵」や「点つなぎ」など頭の体操になるような催しを多く取り入れています。

参加した方は「ご近所の方でも顔を合わせることが少なく、ここで話ができるのを楽しみにしています」と話していました。

(斎藤 富夫)



塗り絵



地区社協メンバーに学びながら竹馬に挑戦する児童

小学校と交流活動

富士根南地区社協

富士宮市富士根南地区社会福祉協議会主催の「昔のあそび教室」がこのほど、同市立富士根南小学校で開かれた。同協議会のメンバーが1年生と一緒に竹馬など昔の遊びを楽しんだ。

児童は地域のお年寄りから昔のことを学び、同協議会は地域の学校と連携しながら子

供たちと交流しようと開かれたもので、教室には64人が参加した。

同協議会のメンバーは竹馬、紙飛行機などを用意。それぞれが「名人」と名札を付けて指導者役となり、子供たちに紙飛行機作り方や竹馬の乗り方を伝授した。竹馬のコーナーでは触れたことすらない子供たちもお

り、最初はできなくても指導者と何度も挑戦。最後には補助なしで乗れるようになり、「やった」と歓声を上げて喜ぶ子供たちに、メンバーも目を細めていた。

参加したメンバーは、「何度もチャレンジしてできるようになった子供たちの笑顔を見て、私たちも良い気分になった。学校と地域を結ぶ行事はこれからも継続していければと思います」と話していた。

昔の遊び教室

岳南朝日新聞社 2022/12/18

会話で「心の宅配」を

猪之頭
地区社協
公共交通機関の調査も

富士宮市猪之頭地区社会福祉協議会（植松誠市会長）はこのほど、同地区社協内の猪之頭、麓両区内のお年寄り宅を訪ねる「心の宅配便」を行った。



届け物を持つ委員

委員らが第2層協議体の一員であることから、高齢者の行動範囲を広げ、生活を豊かにすることを目的に移動に関する調査に取り組んでいる「白糸・上井出地区協議体生活支援体制整備事業」の一環として、市街地への移動手段として必要な公共交通機関であるバスについての聞き取りなども行った。

「街なかの病院に行くために定期券を使って利用している」「車の利用の方が多い」といった声が聞かれた。植松会長は「推進委員が各自宅を訪問し、話をしてくれることで一人一人との関わりを深くでき、防犯のためにもつながつている。今回は協議体の事業としてバス利用の聞き取りをしたことで、この地域に住む高齢者にとって車は必需品であることをあらためて痛感したと同時に、バスの利用方法について少しずつでも周知していける方法を検討していきたい」と話した。

地区の福祉施設に寄付 白糸地区社協がタオルなど



福祉施設に寄付金などを届けた役員ら

富士宮市白糸地区社会福祉協議会（渡邊森正会長）はこのほど、地区区内にある福祉施設でいた同活動を引き継ぎ、対象管内の区民向け合い運動の一環として寄付金などを届けや地域の福祉に対する

募金を届けている。

今回は募金8万9500円、タオル482枚、バスタオル26枚、洗濯石けん47個、固形石けん186個が集まり、渡邊会長、渡辺郁子副会長、理事兼推進委員の勝又照由さん、井出勇作さんの4人が介護老人保健施設リハビリケア、同じかる野、特別養護老人ホームし

らいと、同富士宮荘、障害者支援施設三和荘、富士旭出学園、介護センターひより愛の家グループホームを訪問。コロナ禍のため玄関でタオルなどを手渡した。

渡辺会長は「長年、地域の皆さんに協力をいただいていた心もちた。大切に使用させていただきます」と感謝していた。

た寄付ができる。施設に少しでも役立ててもらえれば幸いです」と話した。また寄付金などを受けた施設側では、「コロナ禍で皆さん大変な時に、気にかけていただけてありがたい。大切に使用させていただきます」と感謝していた。

市内地区社協の活動
岳南朝日新聞社
2022/12/18

[illegible]